○	×

あ

○	×
相いれない	相容(入)れない
相変わらず	あいかわらず
愛嬌	愛きょう, 愛敬
挨拶	あいさつ
間	あいだ
相次ぐ(いで)	相継ぐ，あいつぐ
あいにく	生憎
曖昧	あいまい
あいまって	相俟って
あえて	敢えて
煽る	あおる
上がる	あ(揚, 挙)がる
あがる(敬語)	上がる
※おあがりになる	
あくまで	飽くまで
揚げ句	挙げ句, あげく
上(挙, 揚)げる	あげる
※例をあげる, 表にあげるは例外	
あげる(敬語)	上げる
※ご飯をあげる	
あずかる(関係)	与る
あたかも	恰も
(には)あたらない	(には)当たらない
※驚くにはあたらない	
～あたり(って)	～当たり(って)
※企画にあたり, 開会にあたり	
○○あたり	○○当たり
※一人あたり, 一軒あたり	
辺り	あたり
※この辺り, その辺り	
当たり前	あたりまえ
当たる	あたる
※スポットが当たる, 当たり外れ	
あたる	当たる
※(フグ, 物事, 任, 万死)にあたる	
宛	あて
※宛先, ○○宛	
あてもなく	当(宛)てもなく
後	あと
※その後, ～した後	
あながち	強ち
余すところなく	あますところなく
あまた	数多
あまねく	遍く, 普く
あまり(副, 形動)	余り
※余剰の意は漢字	
洗いざらい	あらいざらい
あらかじめ	予め
あらかた	粗方
新たに	あらたに
改めて	あらためて
あらゆる	凡ゆる
表す（現）	あらわす
ありあり	有り有り
ありがたい	有り難い
※珍しいの意は漢字	
ありがとう	有り難う
有り様	ありさま
ある	或る（在, 有）
あるいは	或は
併せて(副, 接)	あわせて
案外	あんがい
暗に	あんに

い

○	×
いい	良い
言い換えれば	いいかえれば
言う(発言する)	いう
※～と言われている	
～いう	～言う
※～という場合, そういう	
言うまでもなく	いうまでもなく
いえども	言えども（雖も）
いかが	如何
いかに	如何に
活かす	生かす, いかす
※命に関する場合は「生かす」	
いかん	如何
いきおい(副)	勢い
※名詞は漢字	
～(て)いく	～(て)行く
※動詞連用形につく場合	
行く	いく（ゆく）
いくばく	幾何
いくぶん	幾分
いくら	幾ら
いささか	些か
いさめる	諫める, 諌める
萎縮	委縮, 畏縮
いす	椅子，イス
いずこ	何処
いずれ	何れ
依然	いぜん
いたす	致す
いたずらに	徒に
いただく	頂（戴）く
いたって(副)	至って
至る	いたる
※歯髄に至る, 至る所, 至らない	
一～	1～
※一日あたり，一歯科医として	
いちいち	一々
一応	いちおう
一概に	いちがいに
著しい	いちじるしい
一段と	いちだんと
いち早く	逸早く
一番	いちばん
いつ	何時
Ⅰ級, Ⅱ級	1級, 2級
※窩洞の分類, Angleの分類など	
一気に	いっきに
一挙に	いっきょに
一向に	いっこうに
一切	いっさい
一緒に	いっしょに
一斉に	いっせいに
一層（副）	いっそう
※名詞は別「1層の上皮細胞」	
いったい	一体
いったん	一旦
一時に	いっときに
いっぱい(副)	一杯
※名詞は別「一杯のかけそば」	
一般(に)	いっぱんに
一遍(に)	いっぺん(に)
否	いな
今(名)	いま
※今の時代, 過去の治療の今	
今(副, 接)	いま
※今～, 今現在，～となった今	
いまさら	今さら, 今更
いまだ	未だ
海外移住者	←移民(禁)
いや(いいえ)	否
嫌な, 嫌だ(形動)	いや
嫌々	いやいや
否応なく	いやおうなく
いやがうえにも	弥が上にも
いやに	嫌に
いよいよ	愈々
要る	いる
居る	居る
いろいろ	色々
いわば	謂わば
いわゆる	所謂
いわんや	況や
ごまかし	←インチキ(禁)

う

○	×
上(名)	うえ
※山の上, 上のほう	
～うえ	～上
※そのうえ, 明記のうえで	
伺う	うかがう
うかがう	窺う
齲蝕	う蝕
後ろ	うしろ
薄々	うすうす
歌う, 謡う, 謳う	うたう
～うち	～内(中)
※そのうち，三つのうち	
内	うち
※部屋の内，内にこもる	
打ち～(接頭)	うち～
※～捨てる, ～解ける, ～明ける	
うつ	鬱
※うっ血, うっ滞，うっとうしい	
うつぶせ	うつ伏せ，俯せ
鵜呑み	うのみ
羨ましい	うらやましい
～(し)うる	～(し)得る
※獲得の意では漢字	
上の空	うわのそら
うわべ	上辺
云々	うんぬん

え

○	×
えてして	得てして
エックス線	X線

お

○	×
お～(接頭)	御～
おいおい	追い追い
おいて	於いて
往々に	おうおうに
大いに	おおいに
覆う	おお（被）う
おおかた	大方
大袈裟	おおげさ
大雑把	おおざっぱ
大っぴら	おおっぴら
大まか	おおまか
おおむね	概ね
おおよそ	大凡, 凡そ
おかげ	お蔭
※おかげさまで	
犯す, 侵す, 冒す	おかす
置く(物体を)	おく
おく(抽象物を)	置く
※信頼を～, 支店を～	
～(して)おく	～(して)置く
※複合語は漢字「据え置く」	
おける	於ける
行う	おこなう
おしなべて	押し並べて
おそらく	恐らく
(～する)おそれ	畏れ，恐れ，虞
※～のおそれがある	
恐れ	おそれ, 畏れ, 虞
※恐れを抱く, 恐れ入る, 恐れ多い	
追って（副）	おって
オトガイ	頤, おとがい
大人	おとな
おとなしい	大人しい
おのおの	各々, 各
おのずから	自ら
おのれ	己
おぼつかない	覚束ない
面白い	おもしろい
主に	おもに
おもむろに	徐に
およそ	凡そ
および（接続詞）	及び
及ぶ	およぶ
※重度に及ぶ, ～には及ばない	
折	おり, 折り
※～の折, 折から, 折しも, 折々	
おる	居る
～(は)おろか	～(は)疎か
※象牙質はおろか歯髄にまで	
おろそか	疎か
終わり	おわり
※中見出し「おわりに」は仮名	

か

○	×
かい	甲斐
※生きがい, ～しがい, かいがない	
概して	がいして
外国人	←外人(禁)
垣間見る	かいま見る
皆目	かいもく
返す返す	かえすがえす
かえって（副）	却って
かかる	斯，罹，係，関
～(に)かかわらず	～(に)拘らず
かかわる(動)	関(拘, 係)わる
～かぎり	～限り
※～するかぎり, 力のかぎり	
限る（動）	かぎる
※現品に限り, うちの子に限って	
各	かく
※「おの」と読む場合仮名	
掻く(旧字)	掻く(新字)
欠く	かく, 闕く
格段	かくだん
格別	かくべつ
かけがえ	掛け替え
～か月	～箇(ケ, カ)月
掛ける(物体を)	かける
※服を掛ける, 納豆を掛ける	
かける(抽象物を)	掛(懸)ける
※保険(迷惑)を～, 気(手, 心)に～	
重ねて	かさねて
～か所	～箇(ケ, カ)所
箇所（単独）	カ所, ヶ所
※訂正箇所, 該当箇所	
かすかに	微かに
風邪	かぜ
片方の～	←片～(足, 手, 目)(禁)
～（やり）方	（やり）かた
方(人, 方向)	かた
※偉い方, 読者の方々, 西の方	
～方(接尾)	がた
※先生方, あなた方	
硬い(歯科材料)	固い, 堅い
～（し）がたい	～（し）難い
※想像しがたい(動詞連用形＋)	
～（に）難い	～（に）かたい
※想像に難くない	
かたがた	旁々
※お礼かたがた	
片づく，片がつく	片付く，片が付く
～（の）かたわら	～（の）傍ら
～（し）がち	～（し）勝ち
かつ	且つ
脚気	かっけ
括弧	かっこ
かつて	嘗て
かなう	叶う
必ず	かならず
かなり	可成り
かねて	予て
構う	かまう
※子どもを構う, なりふり構わず	
～かまわない	～構わない
※～しても(しようと)かまわない	
かむ	噛む
※文中で判別しにくい場合に限り, 漢字書きを認める	
彼	かれ
辛うじて	かろうじて
cal	カロリー
かわいい	可愛い
かわいそう	可愛想, 可哀相
代わる代わる	かわるがわる
癌	がん
鑑みる	かんがみる
関して（関する）	かんして
頑張る	がんばる
元来	がんらい

き

○	×
気後れ	気遅れ
気がかり	気掛かり
肢体の不自由な子ども	←奇形児(禁)
稀少	希少
きたす	来す
きたる	来る
きっかけ	切っ掛け
気づく, 気がつく	気付く, 気が付く
気持ち	気持, きもち
急遽	急きょ
極力	きょくりょく
（する, の）きらい	（する, の）嫌い
きれい	綺麗, 奇麗
きわめて（副）	極めて
極める	きわめる
※見極め, 極め付き	

く

○	×
具合	具合い, ぐあい
楔(状欠損)	くさび(状欠損)
くしくも	奇しくも
ください	下さい
※～してください, ○○をください	
下す	くだす
※(腹, , 敵, 評価, 決定）を下す	
くぼむ	窪む, 凹む
組み替える	くみかえる
※「遺伝子組換え」は例外	
クモ膜	蜘網膜, くも膜
～くらい，ぐらい	～位
※それぐらい, およそ5g ぐらい	
比べる	較べる
g	グラム
※SI 接頭辞(μ, m, c, k 等)をつける	
～（して）くる	～（して）来る
※本来の意味では漢字	
くれぐれも	呉々も

け

○	×
～げ（接尾）	～気
※悲しげ, 満足げ	
痙攣	けいれん
稀有	けう, 希有
けだし	蓋し
けた違い(外れ)	桁違い(外れ)
結局	けっきょく
結構	けっこう
決して	けっして
現に	げんに
厳に	げんに
研磨	研摩

こ

○	×
個	ケ
ご～(接頭)	御～
こいねがう	希(冀, 請い願)う
こうこう	煌々
交叉(遺伝子の)	交差
亢進(生体機能の)	高進, 昂進
※甲状腺機能亢進症	
被る	こうむる，蒙る
超える	越える
※想像, 限界, 1万人, 記録, 制限時間	
越える	超える
※山, 障害, 一線, 10時	
ごく	極く
心がけ	心掛け
試みに	こころみに
～(に)越したこと	～(に)こしたこと
こしらえる	拵える
こぞって	挙って
御存じ	ごぞんじ
答える, 応える	こたえる
ごちそう	御馳走, ご馳走
～こと	～事
※～ということ, これらのこと	
事(出来事)	こと
※事の重み，事が事だけに, 事柄	
～ごと	～毎
ごとく	如く
ことごとく	悉く
事ごとに	ことごとに
ことさら	殊更
ことに	殊に
ことのほか	殊の外
言葉	ことば
子ども	子供，こども
この	此の
このうえない	この上ない
好んで	このんで
ご飯	御飯, ごはん
こまごま	細々
～込む	～こむ
※差し込む，申し込む, 仕込む	
これ	之, 是, 此れ
頃	ころ，ごろ
根(歯の)→歯根	
※根面, 根分岐部は可	
今後	こんご
今度	こんど
コンピュータ	コンピューター
混迷	昏迷

さ

○	×
○歳	○才
～(の)際	～(の)さい
○○材(薬剤以外)	○○剤
※ボンディング材	
○○剤(薬剤)	○○材
※エッチング, ホワイトニング剤	
幸い	さいわい
遡る	さかのぼる
先(先に，先ほど)	さき
些細な	ささいな
捧げる	ささげる
差し上げる	さしあげる
さしあたり(って)	差し当たり(って)
さしずめ	差し詰め
差し支え	さしつかえ
さして	然して
差し向き	さしむき
さすが	流石
沙汰	さた
※取り沙汰, ご無沙汰, 音沙汰	
さだめし	定めし
早急に	さっきゅうに
さっそく	早速
さばく	捌く
※「裁く」は漢字	
さほど	左程，然程
様	さま
※生き様, 寂しげな様, 岩本様	
さまざま	様々
さも	然も
さらす	晒す, 曝す
さらに（接続詞）	更に
更に, 更なる（副詞）	さらに, さらなる
去る（過去） 散々	さんざん
三次元	3次元

し

○	×
強いて	しいて
潮時	しおどき, 潮どき
しかし	然し
仕方（ない）	しかた（ない）
じかに	直に
しかも	而も
叱る	しかる
しかるに	然るに
じきに	直に
色覚異常	←色盲(禁)
しきりに	頻りに
仕組み	しくみ
プラーク	←歯垢
至極	しごく
子細(に)	しさい，仔細(に)
次第	しだい
※次第に，～し次第	
従う	したがう
※増えるに従って, 従える	
したがって(接)	従って
支度	仕度
したためる	認める
しつけ	躾, 仕付
実際	じっさい
実に	じつに
実は	じつは
～しておく	～して置く
しばしば	屡々
しばらく	暫く
痺れる	しびれる
渋々	しぶしぶ
しまい	終い, 仕舞い
重々	じゅうじゅう
充塡(旧字)	充填(新字)
※補塡，塡塞等，すべて旧字	
十分	充分
上手	じょうず
丈夫	じょうぶ
植物状態	←植物人間(禁)
諸所	しょしょ
徐々に	じょじょに
所詮	しょせん
しらじらしい	白々しい
滲出	浸出
蕁麻疹	じんましん

す

○	×
随分	ずいぶん
～（に）すぎない	～（に）過ぎない
(度が)すぎる	(度が)過ぎる
※おいたがすぎる, ～しすぎる	
(時が)過ぎる	(時が)すぎる
※5年が過ぎる, 過ぎ去りし	
すくう(液体を)	掬う
少なくとも	すくなくとも
すぐに	直ぐに
すくむ	竦む
優れて, 優れる	すぐれて, 勝れて
すごい	凄い
少し	すこし
すこぶる	頗る
ずさん	杜撰
勧める	奨める
※人・物の採用を促す→「薦める」	
ずつ	宛
すてき	素敵, 素的. 素適
すでに	既に
すなわち	即ち（則）
すばらしい	素晴らしい
すべて	全て(総, 凡)
～済み	～すみ
※記入済み, それは済みだ	
すみやかに	速やかに
すむ	済む
擦り合わせる	すり合わせる
※擦り傷, 擦り切れ, 擦り抜け, 擦り減る, 擦れ違う, 擦りむく，床擦れ	
すり替える	擦り替える
※すり切り, ごますり, 手すり	
すれすれ	擦れ擦れ

せ

○	×
精一杯	せいいっぱい
精神障害	←精神異常(禁)
知的障害	←精神薄弱(禁)
統合失調症	←精神分裂病(禁)
せいぜい	精々
生息	棲息
是が非でも	ぜがひでも
咳	せき
世知辛い	せちがらい
せっかく	折角, 切角
石鹸	せっけん, 石けん
絶対に	ぜったいに
切に	せつに
切羽詰まる	せっぱつまる
ぜひ（副詞）	是非
※名詞は漢字「是非を問う」	
全然	ぜんぜん

そ

○	×
～沿い	～ぞい
※道沿い，山沿い	
沿う	添う, 副う
※(線路, 目的, 方針)に沿う	
添う	副う, 沿う
※付き添う, (民意，要望)に添う	
総じて	そうじて
錚々たる	そうそうたる
早々に	そうそうに
相当	そうとう
掻(旧字)爬	掻(新字)爬
素っ気ない	そっけない
その	其の
そのうえ	その上
そば	傍, 側
そびえる	聳える
染出し	染め出し
そもそも	抑も
それ	其れ
それぞれ	夫々
それゆえ	それ故
揃う	そろう
存ずる	ぞんずる

た

○	×
第一	第1
※第一に, 第一大臼歯	
大概	たいがい
たいした	大した
たいして	大して
～（に）対して	～（に）たいして
大丈夫	だいじょうぶ
大切	たいせつ
たいそう	大層
だいたい	大体
たいてい	大抵
だいぶ（ん）	大分
たいへん（副）	大変
大変(名, 形動)	たいへん
※国家の大変, それは大変だ	
絶えず(副)	たえず
絶えて(副)	たえて
(するに)堪えない	(するに)たえない

○	×
互いに	たがいに
たかが知れる	高が知れる
高をくくる	たかをくくる
たくさん	沢山
巧みに	たくみに
だし	出汁
多少	たしょう
確かに	たしかに
たそがれ	黄昏
ただ	唯, 只
たたえる	称える, 讃える
たたく	叩く
ただし	但し
ただし書	但書
ただちに	直ちに
○○たち(私たち)	○○達
たちどころに	立ち所に
たちまち	忽ち
建前	建て前, たてまえ
たとい	例い
たとえ（副）	例え
たとえば	例えば
例える	たとえる
※例えて言えば, 例え話	
たび	度
※このたび, ひとたび	
たびたび	度々
多分	たぶん
食べ物	食物
※食物は「しょくもつ」	
たまたま	偶々
たまる(プラーク)	溜まる
ため	為
駄目	だめ
だれ	誰
垂れる	滴れる, たれる
炭疽	炭そ
だんだん（副）	段々
断トツ	ダントツ
単に	たんに

ち

知的障害者	←知恵遅れ・低能(禁)
～(に) ちがいない	～(に) 違いない
違う	ちがう
※色が違う, 違いがわかる	
近々	ちかぢか
近づく	近付く
逐一	ちくいち
ちなむ, ちなみに	因む, 因みに
認知症	←痴呆症
註(脚註の場合)	注
ちょうど	丁度
ちょっと	一寸
沈澱	沈殿

つ

次いで	ついで
ついでに	序でに
ついに	遂に
つかむ	掴む
○○付き	つき
※尾頭付き，折り紙付き	
～つき	～付き
※目つき，顔つき，体つき	
次に	つぎに
付く(接触の意)	つく
つく(抽象物が)	付く
※(実力, 花, 色, 片, 気)がつく	
～つく(接尾)	～付く
※がたつく, べたつく, ごたつく	
作(創, 造)る	つくる
※抽象物の場合は仮名も可	
～付け	～づけ
※○日付け，今日付け，日付	
続いて	つづいて
綴る	つづる
都度	つど
努めて	つとめて
勤める(務, 努)	つとめる
つながる	繋がる
常々	つねづね
常に	つねに
つぶやく	呟く
つまびらか	詳らか，審らか
つもり	積もり
※そのつもり, 心づもり	
積もる	つもる
※雪が積もる, 見積もり	
ツヤ	艶, つや
※光沢の意の場合(艶っぽいは漢字)	

て

提示(提出)	呈示(呈出)
丁寧	ていねい
手遅れ	手後れ
手がかり	手掛かり
出来（名詞）	でき
※出来映え，上出来, 出来事	
できあがる	出来上がる

○	×
的確(的中)	適確(適中)
できる	出来る
手はず	手筈

と

問合せ先	問い合わせ先
※新製品, インフォメーション欄	
当然	とうぜん
とうてい	到底
とうとう	到頭
～(の)とおり	～(の)通り
※図に示すとおり	
○通り	○とおり
※3 通りの方法	
と(に)かく	兎(に)角
～(する)とき	～(する)時
時折	ときおり
ときたま	時たま
ときどき(副)	時々
時々(名詞)	ときどき
※時々の話題, その時々で変化する	
ときに	時に
途切れる	とぎれる
養護学級	←特殊学級
特に	とくに
どこ	何処
とこしえ	常(長) しえ, 永久
ところ(抽象)	所, 処
※～したところ, そういうところ	
所(場所)	ところ, 処
※遠い所, 所変われば	
ところが	所が
ところで	所で
ところどころ	所々
閉じる, 綴じる	とじる
途絶える	とだえる
途端	とたん
とっさ	咄嗟
突然	とつぜん
整(調)える	ととの(斉)える
とどめる	止める（留）
とはいえ	とは言え
※とはいうものの	
止めどなく	とめどなく
○○ども	○○共
※私ども，野郎ども	
ともども	共々
伴う	ともなう
ともに	共に
捉える	とらえる
※意味を捉える，～と捉える	
捕らえる	とらえる
取り～(接頭)	とり～
※取り(まとめ, やめる, 決める)	
とりあえず	取りあえず
とりえ	取り柄
とりわけ	取り分け
取(採, 摂, 捕)る	とる
※歳を取る, 睡眠を取る, 食事を摂る	

な

ない(なし)	無い(無し)
ないし	乃至
内々	ないない
※「うちうち」も漢字	
萎える	なえる
なお	尚
なおさら	尚更
～(し)直す	～(し)なおす
中（具象）	なか
※箱の中, 家の中	
なか（抽象）	中
※環境, 状況のなか, 三つのなかから	
なかでも	中でも
なかなか	中々, 仲々
長年	永年
半ば	なかば
中身	中味
ながら	乍ら
なかんずく	就中
情けない	なさけない
なす	成す，為す
なぜ	何故
など	等
※「とう」と読む場合漢字	
何	なに
何げない	何気ない
何しろ	なにしろ
何とぞ	なにとぞ, 何卒
なにぶん	何分
なにゆえ	何故, 何ゆえ
生もの	生物, なまもの
～並み	～並, なみ
滑らか	なめらか
倣う，習う	ならう
ならびに	並びに
なる	成る
なるほど	成る程
何	なん

に

○	×
賑やか(わう)	にぎやか(わう)
～(し)にくい	～(し)難い
二, 三の	2，3の
睨む	にらむ
にわかに	俄に

ぬ

抜きんでる	ぬきんでる
ぬれぎぬ	濡れ衣

ね

懇ろ	ねんごろ
年齢	年令

の

脳振盪	脳振とう
のける	除(退)ける
後	のち
※抜歯の後, その後	
のち(副)	後
※晴れのち曇り	
後ほど	のちほど, 後程
のっとる	則る
延べ	のべ

は

徘徊	俳回
ばい菌	黴菌
※可能なら「微生物」「細菌」等に	
排泄	排せつ
生え替わる(歯が)	生え変わる
はがき	葉書，ハガキ
はかどる	捗る
図らずも	はからずも
計る, 量る, 測る	はかる
図る, 諮る, 謀る	はかる
育む	はぐくむ
漠然	ばくぜん
莫大	ばくだい
剥離(剥は旧字)	はくり
歯応え	歯ごたえ
はさみ	鋏，ハサミ
挟む	はさむ
はし	箸
初め	はじめ
※中見出し「はじめに」は仮名	
(を)はじめ	(を)初め
※院長をはじめ(として)	
初めて（副）	はじめて
(～して)初めて	(～して)はじめて
始める	はじめる
※～を始める, ～し始める	
はず	筈
外れる	はずれる
※町外れ，踏み外す	
裸足	はだし
はたして	果たして
発酵	醗酵
派手	はで
甚だ(副，形容)	はなはだ
はばかる	憚る
歯ブラシ	ハブラシ
歯磨き	はみがき
羽目	はめ
早々と	はやばやと

ひ

ひいては	延いては
引き続き	ひきつづき
引く	ひ(曳, 牽, 惹)く
※風邪（気）を引く, 人柄に引かれる	
日ごと	日毎
日頃	日ごろ
非常に	ひじょうに
ひたすら	只管, 一向
ひたむき	直向き
引っ掛かる	引っかかる
引っ掻く	引っかく
ひっきりなし	引っきりなし
畢竟	ひっきょう
※場合によってはルビ振る	
ひっくり返す	引っ繰り返す
日付	日づけ，日付け
引張○○	引張り○○
※引張(応力, 強さ, 試験)	
引っ張る	引張る
ヒト	人，ひと
※学術的に動物の一科として	
一方ならぬ	ひとかたならぬ
人さし指	人差(指)し指
ひとしお	一入
ひとしきり	一頻り
ひとしく(副)	等(斉)しく
ひとたび	一度
一つ	ひとつ、1つ
※1, 2, 3 と入替え可能な場合は漢字	
一つひとつ	ひとつひとつ
一通り(副)	ひととおり

○	×
ひとまず	一先ず
一人, 独り	ひとり
※1, 2, 3 と入替え可能な場合は漢字	
ひとりでに	独りでに
独り善がり	ひとりよがり
ひとわたり	一渡り
非難	批難
農家の人・農民	←百姓・農夫(禁)
瘢爛	びらん
翻って	ひるがえって
広がる	拡がる
顰蹙	ひんしゅく

ふ

～風	～ふう
※洋風，学者風	
～(の)ふうに	～(の)風に
※こういうふう，知らないふうに	
孵化	ふ化
俯瞰	俯観, ふかん
賦形	付形
無様, 無精, 無粋	不様, 不精, 不粋
ふさわしい	相応しい
不十分	不充分
再び	ふたたび
ふだん	普段
※「～の努力」は不断	
普通	ふつう
踏まえる(て)	ふまえる(て)
腐爛	腐乱
～(の)ふり	～(の)振り
※知らぬ～, 他人の～, 思わせぶり	
○振り(素, 身, 手)	○ぶり
～ぶり	～振り
※久しぶり，○年ぶり	
奮って	ふるって
振る舞い	ふるまい
ホームレス, 路上生活者	←浮浪者(禁)

へ

ページ	頁
下手	へた
別して	べっして, べして
別段	べつだん
別に	べつに
別々	べつべつ
辺	へん
※この辺のことは	
扁平	偏平

ほ

～(の)ほう	～(の)方
※北のほう, ～のほうがよい	
茫然	呆然, ぼうぜん
膨大	厖大, ぼうだい
頬（旧字）	頬（新字）
※頬舌，頬側，頬粘膜，すべて旧字	
ほか	他, 外
※「た」と読ませる場合漢字	
歯周ポケット	←ポケット(歯周)
ほご	反故
～(して)ほしい	～(して)欲しい
※補助形容詞的用法(買ってほしい)	
～(が)欲しい	ほしい
※食べ物が欲しい, 物欲しい	
～ほど	～程
※先ほど, 多いほど, すればするほど	
ほど	程
※身のほど, ほど良い, ほどなく	
ほどほどに	程々に
ほとんど	殆ど
哺乳	ほ乳
ほぼ	略, 粗
本当	ほんとう

ま

μm	マイクロメートル
※ミクロンは使用せず	
(する)間際	(する)まぎわ
誠に	まことに
まさしく	正しく
まさに	正に
勝る	優る、まさる
まして	増して
真面目	まじめ
まず	先ず
ますます	益々
また（接続詞）	又
まだ	未だ
～(を)またない	～(を)俟たない
※論を～, ～の言をまつまでもない	
または	又は
間違う	まちがう
真っ先に	まっさきに
真っすぐ	真（ま）っ直ぐ
全く	まったく
真っ当(な)	全う(な)
全うする	まっとうする
～まで	～迄

○	×
まとめる	纏める
真似	まね
麻痺	まひ
まま	侭
摩耗	磨耗
まもなく	間もなく
丸ごと	まるごと
丸々	まるまる
まれ	稀
万(が)一	まん(が)いち
真ん中(前)	まんなか

み

～み（接尾）	～味
※弱み, 厚み(新鮮味のみ例外)	
み～(接頭)	御～
※み霊，み代	
見いだす	見出す
みぎり	砌
見事	みごと
みずから	自ら
みずみずしい	瑞々(水々)しい
みだりに	妄(濫)りに
道	路, 途, 径
見つける	見付ける
見どころ	見所
みなす	見做す, 見なす
見栄え	見ばえ, 見映え
見よう見まね	見様見真似
(物事が)みられる	見られる
※実際に見る場合は漢字	
見る, 観る, 診る	みる
～(して)みる	～(して)見る

む

むしろ	寧ろ
難しい	むずかしい
無駄	むだ
むなしい	空(虚)しい
旨	むね
むやみ	無闇, 無暗
無理(やり)	むり(やり)
無論	むろん

め

～め（長め）	～目
～目（二人目）	～め
銘々	めいめい
メインテナンス	メンテナンス
m	メートル
※SI 接頭辞(μ, m, c, k 等)をつける	
眼鏡	めがね
(を)めぐる(問題)	巡る
※回る, 囲む意は漢字	
目指す	めざす
目覚ましい	めざましい
召し上がる	めしあがる
めちゃくちゃ	滅茶苦茶
めったに	滅多に
めど	目途, 目処
めまい	眩暈, 目眩
めりはり	減り張り
面倒	めんどう

も

申し上げる	もうしあげる
申し訳	もうしわけ
申す	もうす
毛頭	もうとう
朦朧	もうろう
もくろみ	目論見
もし	若し
もしくは	若しくは
もちろん	勿論
持つ（具体）	もつ
もつ（抽象）	持つ
※複合語例外(併せ持つ, 受け持つ)	
もったいない	勿体ない
もって	以て
最も	もっとも
もっとも	尤も
もっぱら	専ら
下, 元, 本, 基, 許	もと
基づく	もとづく
もともと	元々, 本々
もとより	固より, 素より
もの	者, 物
※具体的な人, 物体を表す場合漢字	
もはや	最早
もらう	貰う
漏れる	洩れる, もれる
もろもろ	諸々

や

やかましい	喧しい
矢先	やさき
易しい, 優しい	やさしい
～(し)やすい	～(し)易い

○	×
厄介	やっかい
やはり	矢張り
やまやま	山々
やむをえない	已むを得ない
やや	稍々
ややもすれば	動もすれば
やる	遣る
※やり方，読んでやる	
和らぐ	やわらぐ
軟らかい(歯科材料)	柔らかい

ゆ

憂うつ	憂鬱
優に	ゆうに
悠々	ゆうゆう
故(名詞)	ゆえ
※故あって, 故なく, 何故	
～ゆえ	故
※それゆえ, 能力がゆえ, 年齢ゆえ	
ゆえに	故に
ゆえん	所以
歪む	ゆがむ
ゆく（いく）	行く
～(して)ゆく	～(して)行く
ゆくゆく	行く行く
委ねる	ゆだねる
ゆるり	緩り

よ

良い, 善い	よい
※頭が良い，操作性が良い	
～よい	～良い
※～してよい, ～のほうがよい	
～(の)ように	～(の)様に
ようやく	漸く
余計	よけい
由	よし
良(善)し悪し	よしあし
よって	因って
呼ぶ	よぶ
※～と呼ばれる	
よほど	余程
よりどころ	拠り所
寄る辺	寄るべ
よろしく	宜しく

ら

ハンセン病	←らい病(禁)
○○ら(われら)	○○等

り

罹患	りかん
l	リットル
立派	りっぱ

ろ

ろう	蠟, 蝋
※文中で判別しにくい場合に 限り, 蠟(旧字)を認める	
ろうあ	聾唖
瘻孔	ろう孔
濾過	ろ過

わ

我が	わが
わかる	分か（判，解）る
分かれる, 別れる	わかれる
わきまえる	弁える
～わけ(…ない)	～訳(…ない)
※わけにはいかない, わけではない	
技, 業	わざ
わざと	態と
わずか	僅か
煩う, 患う	わずらう
私	わた（く）し
～わたる	～亘る, 亙る
※広範囲にわたり, 3か月にわたって	
渡る（動詞）	わたる
※海を渡る, 風が渡る	
割合に	わりあいに
割に	わりに
我(々)	われ(われ)
彎曲	湾曲, 弯曲